

バラ 年間管理表



| | ブッシュローズ(木立バラ) | | つるバラ | | 鉢バラ | |
|-----|---------------|--|----------|--|----------|---|
| 1月 | 肥料 剪定 | 有機肥料をできれば12月に与える(周りの土を掘って与える) 冬の剪定はできれば一番寒い時期を超えた、 2月後半に強剪定を行う | 肥料 誘引 | 有機肥料をできれば12月に与える(周りの土を掘って与える) 新しく伸びた枝を誘引し、不要な枝や古い枝を整理する | 肥料 剪定 | 鉢の土換えをし、有機肥料を与える 冬の剪定は強剪定 |
| 2月 | | | | | | |
| 3月 | 薬剤散布 | 特に新芽にアブラムシなどが付きやすい | 薬剤散布 | 特に新芽にアブラムシなどが付きやすい | 薬剤散布 | 特に新芽にアブラムシなどが付きやすい |
| 4月 | | | | | | |
| 5月 | 肥料 | お礼肥えは有機配合肥料など | 肥料 | お礼肥えは有機配合肥料など (一季咲きのバラには与えなくてもよい) | 肥料 | お礼肥えは有機配合肥料など |
| 6月 | | | | | | |
| 7月 | 剪定 | ハダニが付きやすい時期 葉が茂って風通しが悪くなったら、細枝は枝の元から落とす 株が弱っている場合は剪定しない | 枝整理 | ハダニが付きやすい時期 風通しを良くするため、不要な枝は元から落とす 特に新しく伸びた枝(シュート)に気をつけ、結びつける等保護する | 剪定 | ハダニが付きやすい時期 葉が茂って風通しが悪くなったら、細枝は枝の元から落とす 株が弱っている場合は剪定しない |
| 8月 | | | | | | |
| 9月 | 薬剤散布 | | 台風対策 | | 薬剤散布 | |
| 10月 | | | | | | |
| 11月 | 肥料 剪定 | 有機肥料をできれば12月に与える(周りの土を掘って与える) 冬の剪定は強剪定 | 肥料 誘引 | 有機肥料をできれば12月に与える(周りの土を掘って与える) 新しく伸びた枝を誘引し、不要な枝や古い枝を整理する | 肥料 剪定 | 鉢の土換えをし、有機肥料を与える 冬の剪定は強剪定 |
| 12月 | | | | | | |

- 水やり** 地植えの場合は晴れの日が続き、乾いているようだったらあげる。鉢バラは表面が乾いたらあげる。基本的には午前中湯に与える。夏は日中を避けて朝か夕方、冬はお昼頃に与える。
- 代表的な病気** ウドンコ病 …… 枝葉や蕾に白い粉状の斑点が広がる。春と秋に発生しやすい。発生したらカリグリーン等を散布。
黒点病 …… 葉に黒い斑点がで、葉を落とす。消毒薬はダコニール、オーソサイド等で予防、治療薬はサプロール。
根頭ガンシユ病 …… 接ぎ木部分にこぶが発生する病気。こぶをハサミ等で切り取る。
- 代表的な害虫** スミチオン・オルトラン等を散布して予防する
アブラムシ …… 全般的に付きやすい。増える前に早めに薬剤散布する。
カイガラムシ …… 5~10mmくらいの白い口ウ状の形をしている。歯ブラシでこするととれる。
テッポウムシ …… 地際の幹に穴をあけ入りこみ幹の中を食害する。穴に殺虫剤を注入して穴をふさぐ。
ハダニ …… 夏、葉の裏に爆発的に広がり、急速に葉を落とす。専用の薬を6月初め頃から散布。
チュウレンジバチ …… 3~5mmでお腹がオレンジ色の葉バチ。枝のやわらかい部分に産卵し、その幼虫が葉を食害。
コガネムシ …… 成虫は花や蕾を食害。幼虫は土内で根を食害し、枯死することがある。
ゾウムシ …… 2~3mmで、鼻が象のような形をしてる。新梢の柔らかい時期に、花首に近い所で産卵するため、蕾がいきなり枯れたり落ちたりする被害。
- 花期** 一季咲きのバラは5~6月、四季咲き・返り咲きのバラは5~6月・7~8月・10~11月と繰り返し咲く。
繰り返し咲くバラは花がらを摘んであげると花付きが良くなる。一季咲きのものは、秋にローズヒップを楽しめるものもある。
- 特性** バラは落葉樹で深秋には葉を落とし、休眠させる。花は基本的には新しい枝にしか付かないので、毎年枝の更新をさせる。